



北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会（第5回） に社会実装関係者として参加



北陸情報通信協議会G空間×ICTまちづくり推進部会（部会長：飯島泰裕 金沢大学客員教授）は、令和6年6月26日（水）に、北陸総合通信局の会議室とオンラインによるハイブリッドで開催された、北陸総合通信局が事務局の「第5回北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会」に社会実装関係者として参加しました。

この協議会は、北陸地域における「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、5G等の通信基盤整備に資するため、地方公共団体、通信事業者等との間において、地域におけるデジタル実装と通信基盤整備のマッチング等の推進を目的としており、G空間部会は同協議会の社会実装関係者として参画しています。G空間部会からオンライン参加を含め14名が参加しました。

第5回会合では、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル、NTT西日本及び日本ケーブルテレビ連盟北陸支部より、能登半島地震の対応状況及び今後の取り組みについて報告がありました。

また石川県からは、「創造的復興プラン」において、通信インフラやデジタル技術の活用とデジタルライフラインの構築に向けた検討状況、富山県からは、能登半島地震で明らかになった課題についての検証、福井県からは、県が開発した避難所運営システムを支援先の珠洲市へ提供した事例と災害対応の課題・国への要望がそれぞれ述べられました。

議事

- 1 5G等のインフラ整備のマッチング案件についての進捗報告
- 2 通信事業者の能登半島地震の対応状況、今後の取り組み
- 3 各県からの発表
・能登半島地震への対応
（石川県創造的復興プラン、情報通信インフラの強靱化に向けた検討等）
・各県からの国・通信事業者等への要望等
- 4 デジタルインフラによる地域課題解決について
- 5 「FTTHの民設移行に向けた勉強会」開催について



正面 大数副部会長（左） 菱田北陸総合通信局長（右）

飯島部会長はオンラインで参加



当部会では、社会実装関係者として、引き続き北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会に参画していきます。